

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○主体的な学習態度の育成と考えを深める話し合い活動を重視した授業実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長



【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや四則計算など、学習の素地はある程度の定着が見られる。 ●ノートに自分の考えが書けず、板書を写すにとどまる児童が多く、ノートを使っての学習をすることに課題がある。	○ノートを使って学習する習慣を定着させ、基礎的・基本的な知識・技能を主体的に身につけることができる。	○学習の過程が分かるノート指導。 ・算数ではどの学年もマス目ノートを使用する。 ・ノートに本時のめあてと振り返りを必ず書くよう指導する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○好奇心旺盛で、体験活動を通して課題を解決する学習には積極的に取り組むことができる。 ●自分の課題や目的に応じて聞き取ったりまとめたりする力、必要な情報を収集・選択し筋道を立てて説明したりする力に課題がある。	○学習したことを活用し、根拠や理由を明らかにして、自分の考えを発表することができる。 ○人の話に耳を傾け、的確に理解することができる。 ○自分と友達の考えの相違点を考えることができる。	○『きき方名人』『発表の仕方』を各学年に掲示し、聴く力や話す力の育成に努める。 ○グループ活動や発表形式など学習形態を工夫して児童相互に学び合う場を設定するといった、授業の工夫改善を図る。 ○自分や友達の考えを書いたり伝えあったりできるように興味・関心が持続する指導に努める。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題等、与えられた課題については真面目に取り組む児童が多い。 ●自分から課題を見つけ、学習に見通しをもって主体的に取り組む意欲に差があることに課題がある。	○自分から課題を見つけ、課題を解決するために自主的に学習に取り組むことができる。 ○日頃から読書に親しむことができる。	○国語辞典や学習カードを1人ずつ持たせ、学習環境を整える。 ○「家庭読書デー」の取組方法の1つとして『ファミ読のすすめ・ブックリスト』を紹介し、読書習慣の定着を図る。 ○毎月末の『家庭学習ふりかえりデー』を継続し、『家庭学習の友』を活用した振り返りを行う。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

